

2018年度

愛泉苑ショートステイ
施設事業概況報告
2019年3月31日現在

理事長	施設長	総主任	担当者

愛泉苑グループ理念
『助ける人なき人のために助ける人となる』

品質方針

『明るく暖かく清潔で、安全な施設作りを進め、利用者満足度の向上を目指して、対人サービスの継続的改善を行います。』

施設概要

施設種別 併設型短期入所生活介護(介護予防含む)
事業所番号 1173800143
住所 〒347-0022 埼玉県加須市水深869-2
電話番号 0480-65-4122 FAX番号 0480-65-7028
設立認可 2000年(平成12年)4月1日(介護予防2006年4月1日)
施設建物 鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積 886.300㎡
居室の状況及び入所定員 多床室(3人部屋1室 2人部屋2室) 入所定員7人

【事業内容】

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来るように、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的として実施しています。

1、毎月の定例事項

行事	日程	内容	時間
礼拝	毎日	愛泉苑職員礼拝への参加	8:45～9:00
申し送り	毎日	全体スケジュール及び引き継ぎ確認	9:15～9:30 17:15～17:30
ケース会議	毎月1回	利用者処遇についての会議	14:00～15:00

2、加算項目

※ ○は入所者全員に係る加算。△は対象者のみに係る加算。

	加算項目	内容	単位数
○	サービス提供体制強化加算 I 1	介護職員のうち、介護福祉士の占める割合が60%	18
○	夜勤職員配置加算 I	ユニット以外で夜勤を行う介護職員又は看護職員の数が、最低基準を1以上上回っている場合	13
△	送迎加算	居室と事業所間の送迎を行う場合(片道)	184

3、品質目標

部門名	部門目標	達成度	目標達成のため努力した取り組み
ショートステイ部門	毎月ベッド稼働率を95%以上目指す。	年間稼働率平均97.86% 目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月前の利用予約受付を行い、顧客のニーズに応じられるように、必要に応じて空床紹介や事業所と連携し、受付調整を行っている。 ・毎月フロア会議で、受け入れ体制での課題を分析し、利用者や家族が安心して快適に過ごせるように多職種間で対策を立てている。 ・利用することで楽しみとつながるように毎月1回以上調理や創作行事等を計画的に実施した。 ・緊急短期入所受入を積極的に行った他に、長期の受け入れを実施した。

介護度別	要介護1	15	10	10	16	18	20	14	14	16	6	7	9	155
	要介護2	18	17	13	21	17	22	21	24	11	10	33	13	220
	要介護3	131	156	135	150	130	133	143	135	145	152	133	124	1667
	要介護4	26	36	50	35	40	27	31	32	35	30	30	55	427
	要介護5	16	11	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
目標稼働日数	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217	2555	
当月利用日数	206	230	208	222	205	205	209	205	207	198	203	201	2499	
稼働率	98.15%	106%	99.05%	102.3%	94.47%	97.62%	96.31%	97.62%	95.39%	91.24%	103.57%	92.63%		
四半期平均稼働率	101.07%			98.13%			96.44%			95.81%			97.86%	

(ii) 今年度と過去3年間の実績達成率比較

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間平均
2015年度	90.89	90.53	87.78	85.14	88.59
2016年度	80.21	93.29	101.01	96.15	92.66
2017年度	95.31	99.9	96.76	90.83	95.70
2018年度	101.07	98.13	96.44	95.81	97.86

- ・年間1日平均利用者数
6.84人
- ・年間介護度平均数
2.8

考察:

- ・状態に合わせた支援内容を関係事業所間で情報共有して、継続的に在宅生活が維持できるように支援を行った。
- ・特養の併設型という施設体制を活かして、空床状況を活用し入所待機者の受け入れを行った。
- ・虐待ケースや緊急受入れ等4件を受けた。
- ・四半期毎に広報誌で、活動報告を利用者家族、関係事業所に配布して支援活動など情報発信を行った。家族やケアマネジャーから色々工夫された取り組みを継続して欲しいと意見が聞かれた。

(b) 行事

調理企画:利用者が主体となり、調理をしてもらう。活動を通じて、食の楽しみや意欲性等引き出す。

行事	日程	時間	場所
蒸しパン作り	4月22日	10:30~13:00	りんどうフロア
手作りアイス	7月15日	14:00~15:30	りんどうフロア
流しそうめん	8月22日	10:00~12:30	りんどうフロア
秋刀魚祭り	9月29日	10:00~12:30	りんどうフロア
さつま芋せんべい作り	11月18日	10:30~11:00	りんどうフロア
鍋料理	2月26日	16:00~18:30	りんどうフロア

考察

- ・季節感を楽しめるように、個人の能力にあわせたプログラムで実施し、食する楽しむ他に関わりを通じて利用者間交流が深められるように活動した。

【利用者からの感想】

- ・「自分で調理することで自信作ができ、美味しい。」
- ・「5感を活用し、四季を感じた料理を食べられる事は贅沢だね。」

創作企画:脳の刺激や手指運動を兼ねて、自己表現を引き伸ばせるように活動してもらう。

行事	日程	時間	場所
カップフラワー作り	6月6日	10:00~11:30	りんどうフロア
夏の海辺(立体)	7月(強化月)	10:00~11:30	りんどうフロア
秋の装飾(立体)	9月(強化月)	10:00~11:30	りんどうフロア
コースター作り	10月24日	10:00~11:30	りんどうフロア
クリスマスリース作り	11月30日	10:00~11:30	りんどうフロア
正月装飾作り(大凧作り)	12月23日	10:00~11:30	りんどうフロア
桜の木(立体)	1月~3月(強化月)	14:30~15:30	りんどうフロア
ひな人形作り(立体)	2月(強化月)	10:00~11:30	りんどうフロア
鯉のぼり作り	3月(強化月)	10:00~11:15	りんどうフロア

考察

・表現の自由を大切にして、個性を認め合う関係作りを目的として実施している。また、生活の場として、身近な風景など創作活動をする事で安心できる環境づくりへとつなげた。

【利用者からの感想】

- ・「一人だと何もできないが、みんなでやると大作ができて楽しい。昔の風景や思い出など会話につながり展示することで次回の利用時の展開を楽しみへとつながった。」
- ・「イメージが湧いてくると取り組みやすい。手作りは、愛着や親しみやすさがある。何よりも達成感や満足感を皆と共有できる。」

【家族からの感想】

- ・「色々と企画を考えていただき、自宅で誇らしげに話す様子を聞いて安心している。」

外出企画：心身機能面での低下予防として、地域資源を活用し、能力の確認

行事	日程	時間	場所
東武動物公園探索	5月19日	11:00~16:00	東武動物公園
苺狩り(家族同伴企画)	3月7日	13:30~15:45	菖蒲グリーンセンター

考察

- ・日常生活リハビリの一環として、運動機能を目的とした取り組みの他に、自分で決定する失われつつある主体性の回復を買い物を通じて支援を行う取り組みをした。
- ・家族同伴企画は、家族交流含め情報交換を行い、家庭介護の状況や思いなど確認できた。

【利用者からの感想】

- ・「いろいろな動物と触れ、普段より運動量が多く少し疲れたが、楽しみを感じながら外出ができた。次回も誘ってほしい。」

【家族からの感想】

- ・「スタッフ間との交流は少ないので良い機会であった。」
- ・「入所したが、以前と変わりなく関わる機会を確保してくれて、本当に嬉しい。」

6、利用者の状況

(a) 利用者の年齢

平均 87.5歳	最高年齢 99歳	最少年齢 63歳
----------	----------	----------

(b) 利用目的

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1、利用者自身の状況若しくは病状	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	1	2	0	0	1	8
2、家族の疾病、冠婚葬祭、出張	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	2	3
3、家族の身体的、精神的負担の軽減	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	2	1	0	0	4	7
4、緊急・虐待相談からの受け入れ	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	0	0	0	0	1	3	0	4	2	11	4	3	0	0	8	21

(c) 受入れ実施地域者数

加須市	久喜市	県内合計	県外	総合計
29	0	29	0	29

7、予防処置 是正処置について

予防処置	是正処置	合計
3	0	3

- ・衣類の洗濯管理について
- ・利用者からのセクハラを受けた場合の対応について
- ・感染症予防取り組みについて

8、事故の状況

(a) ヒヤリハット区分について

転倒	転落	ずり落ち	褥瘡	皮剥け	内出血	誤薬	異食	誤嚥	落葉
100	9	6	1	1	2	4	9	6	0
スキントラブル	入浴事故	爪はがれ	火傷	他者とのトラブル	合計	ヒヤリハット報告は、翌日の朝の申し送り後に他部門と検証内容を確認してから業務に入る仕組みを行って			
1	0	0	1	8	148				

している。また、利用者からの苦情・要望も増加している。

(b) 事故区分について

転倒	転落	ずり落ち	褥瘡	皮剥け	内出血	誤薬	異食	誤嚥	落葉
1	0	0	0	3	2	0	0	0	1
スキントラブル	入浴事故	爪はがれ	火傷	他者とのトラブル	しりもち	合計	前年度比較33.34%減		
0	0	2	0	0	1	10	入院伴う重大事故0件		

(c) 利用者の事故対応について

入院	通院	処置	異常なし
0	0	2	8

考察

- ・利用時にアセスメントを十分に行い、支援を行えたので大きな事故が予防できた。
- ・転倒リスク者が複数いる場合、他部門と連携し、見回りの強化を行い、事故予防を図った。

(d) 職員の事故、病欠について

労災事故	人身事故	車両物損事故	メンタル不調	その他	合計
0	0	0	0	0	0

9、苦情・要望について

利用者からの苦情・要望				御家族からの苦情・要望				合計
運営面	サービス面	その他	対処済み数	運営面	サービス面	その他	対処済み数	
0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関からの苦情・要望				地域からの苦情・要望				
運営面	サービス面	その他	対処済み数	運営面	サービス面	その他	対処済み数	0
0	0	0	0	0	0	0	0	

考察

- ・利用毎に家族からの要望等の確認し、利用時の様子や支援内容を連絡表で情報交換を行っている。
- ・利用者家族アンケート調査を実施した。
- ・直接支援スタッフも送迎に関わり、意見を聞く機会を持つようにした。

10、施設内整備・備品購入について

日程	整備内容	業者名	金額
7月11日	電気温水器	株式会社弓木電設	108,000円